給与計算実務能力検定試験®

対策講座・模擬試験講座

こんな方におススメです

❶範囲が幅広くて、どこを覚えたらいいのかわからない
❷時間がないから、重要ポイントに絞って学習したい
❸事例や問題をたくさん解いて、知識を確認したい

公式講座は給与計算に必要な知識が無駄なく習得でき、検定合格ラインに導きます

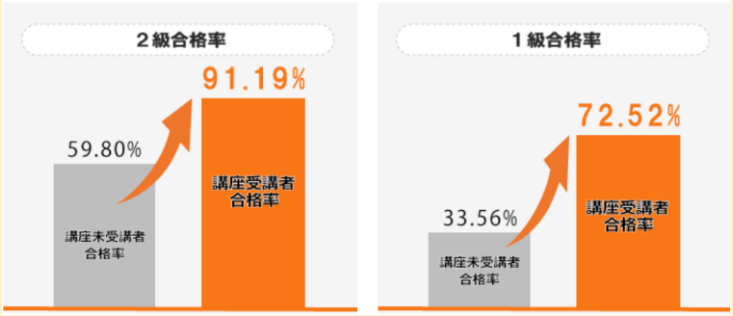
給与計算実務能力試験の難易度

■想定合格率（講座を受講していない人も含む）
２級試験　全受験者のうちの60%～70%程度
１級試験　全受験者のうちの40%～50%程度

■想定学習時間
２級試験　40～50時間程度
期間にして1ヶ月～1ヶ月半程度
１級試験　50～60時間程度
期間にして１ヶ月半～2ヶ月程度
（２級の範囲は理解できているものとする）

合格率が全然違う！

対策講座・模擬試験講座をご受講いただくと、
検定合格に必要な知識が無駄なく短時間で習得できます。

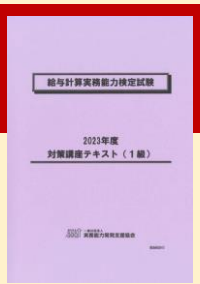


※グラフは2023年11月23日試験での合格実績。「講座受講者」とは通学講座、ＤＶＤ講座、ＷＥＢ講座の形態を問わず、「対策講座」「模擬試験講座」のいずれかを受講した方を指します。

POINT!

対策講座　模擬試験講座

試験対策に特化したメインテキスト



「対策講座テキスト」と「公式テキスト」の学習内容に違いはありません。
「対策講座テキスト」 は『給与計算実務能力検定®』試験対策に特化して
編集された構成になっていますので、出題ポイントがわかりやすくまとめられ、
理解を深める事例や練習問題も豊富に掲載された内容となります。
※講座では「公式テキスト」は使用しません。

各章・項目の注目すべき 学習のポイント

学習のポイント
- □　年次有給休暇の権利の発生の要件･･･継続勤務と出勤率〔労働基準法 39 条１項〕
- □　付与日数･･･基本的な増加の仕組み〔労働基準法 39 条２項〕
- □　比例付与･･･パート・アルバイト等に対する年次有給休暇〔労働基準法 39 条３項〕
- □　年次有給休暇の付与単位･･･原則１日単位で付与〔関連通達、労働基準法 39 条４項〕
- □　時季指定権と時季変更権･･･労働者の時季指定権と使用者の時季変更権〔労働基準法 39 条５項〕
- □　計画的付与･･･年次有給休暇を計画的に消化させるための仕組み〔労働基準法 39 条６項〕
- □　年次有給休暇期間中の賃金･･･３つの種類から選択〔労働基準法 39 条７項〕

試験直前の確認におススメ チェックポイント

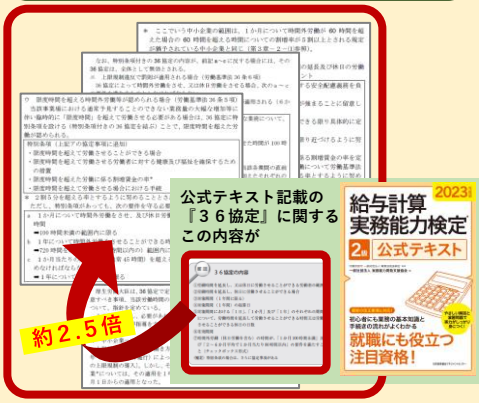
Check Point
- □　年次有給休暇の権利の発生要件は、６か月以上継続勤務し、その間の出勤率が８割以上であること。
- □　付与日数は、継続勤務年数１年ごとに増加する。
- □　１年間の出勤率が８割未満である場合は、次の１年間については、年次有給休暇の権利は発生しない。ただし、継続勤務年数には影響しない。
- □　パートやアルバイトなどの非正規の労働者にも、年次有給休暇を与える必要がある。ただし、付与日数は、比例付与となることがある。
- □　比例付与の対象者は、週の所定労働時間が 30 時間未満であって、かつ、週の所定労働日数が４日以下（又は年間の所定労働日数が 216 日以下）の者。
- □　年次有給休暇中の賃金は、「平均賃金」、「所定労働時間労働した場合に支払われる通常の賃金」、「標準報酬月額の 30 分の１」のいずれか。あらかじめ取り決めておく必要がある。

検定試験前半の知識問題対策集 確認問題・解答

確認問題
以下の問題文が正しければ○、誤っていれば×をつけてください。
【問　１】　年次有給休暇の権利の発生要件は、１年６か月以上継続して勤務し、その間の出勤率が８割以上であることである。
【問　２】　出勤率を算定する際に、業務上負傷し、又は疾病にかかり療養のために休業した期間があるときは、その期間は、出勤したものとみなされる。
【問　３】　３年６か月継続勤務した者に付与しなければならない年次有給休暇の日数は 13 日である。
【問　４】　パートやアルバイトなどの非正規雇用の労働者には、年次有給休暇を与える必要はない。
【問　５】　使用者は、労働者から請求された時季に年次有給休暇を与えないことができる。このことについて、特に理由は問われない。
【問　６】　年次有給休暇の期間についての賃金は、「所定労働時間労働した場合に支払われる通常の賃金」としなければならない。

確認問題の解答
【問　１】　×
「１年６か月」ではなく、「６か月」が正しい。
【問　２】　○
【問　３】　×
「13 日」ではなく、「14 日」が正しい。
【問　４】　×
パートやアルバイトなども労働者であるので、要件に該当し
次有給休暇を与えなければならない。なお、一定の者は、比例
る。
【問　５】　×
使用者が時季変更権を行使できるのは、「事業の正常な運営
に限られている。
【問　６】　×
「平均賃金」、「健康保険法による標準報酬月額の 30 分の１に
とすることもできる。

知識を深く理解する情報満載 豊富な事例・根拠となる法令と判例



❓公式テキストと何が違うのですか❓

例えば２級公式テキストに「発展」コーナーとして記載されている『３６協定』の内容が、２級対策講座テキストでは2.5ページ分、詳細な根拠とともに記載されています。

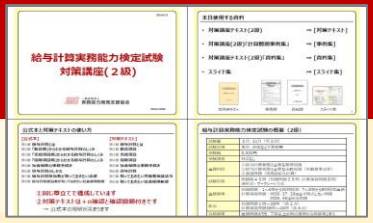
知識を深く理解するための情報が詰め込まれた内容です。

※講座学習には「公式テキスト」を別途お求め頂く必要はございません。個々の学習状況に応じ、必要にあわせてご検討下さいませ。

POINT!

対策講座　模擬試験講座

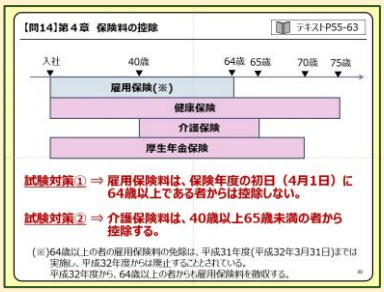
重要ポイントをまとめたレジュメ



解説講義で講師が使用するスライドをまとめて印刷したレジュメです。
試験や実務上で重要なポイントを整理、図解等も交えわかりやすく解説したものとなっています。
学習してきた知識の最終確認に大変おススメです。

赤字、太字は覚えておくべき
重要ポイント

視覚からも覚えられる
図解も豊富



出題されやすい論点が明示
出題ポイント

カラー印刷されているため、講師の解説中にマーカー等をひく作業は必要はありません。講義に集中出来ます。

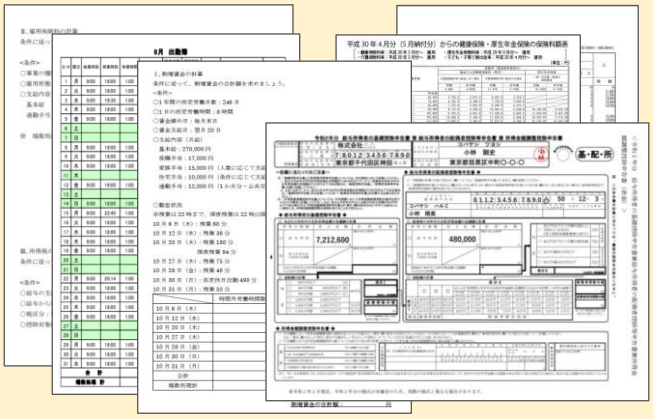
POINT!

対策講座

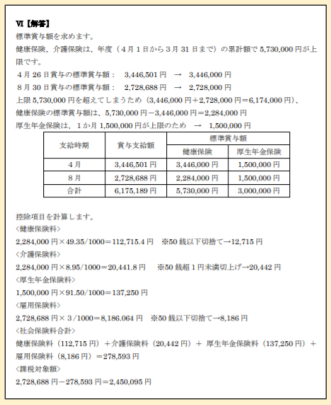
給与計算の基本を演習する計算問題事例集

ポイントとなる計算問題がコンパクトにまとまった、解説付きの冊子です。
計算手順を丁寧に解説していますので、はじめて学習する方も無理なく理解できます。

基本的な保険料計算から総合問題まで一通りの演習を学ぶ
事例集問題・資料集



丁寧に解説された細かい計算過程で手順を追って確認
事例集解答



基礎的な前提条件からひとつひとつ丁寧に計算過程が記載されているので、給与計算の基本となる「手順」をしっかり学ぶことができます。

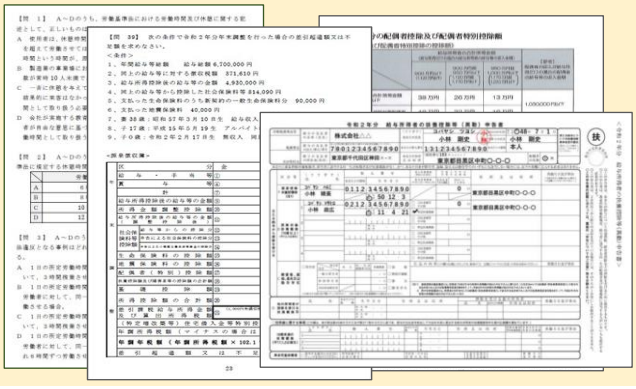
POINT!

模擬試験講座

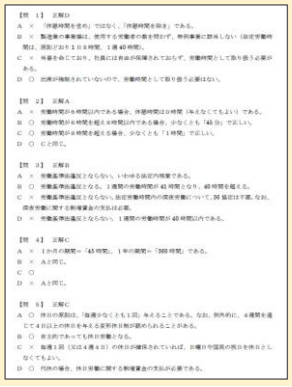
本試験同様の模擬試験問題・解答

本試験と同じ40問構成の模擬試験問題を繰り返し解くことで、受験力を鍛えます。
出題傾向を知って苦手問題を発見し、時間配分等、合格点を意識した対策を検討できます。

本試験と同じ40問／120分で出題傾向をしっかり捉える
模擬試験問題・資料集



選択肢ごとに何故そうなるのかをポイント解説
模擬試験解答



※本講座は模擬試験に関する内容のみ解説しています。それ以外の内容について不安がある場合は「対策講座テキスト」でご確認ください。

実務能力開発支援協会 公式サイト　給与計算実務能力検定　で検索　お役立ち情報発信中